

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	精神保健福祉人材養成等研修事業		担当部局庁	障害保健福祉部	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	障害保健課 地域移行・障害児支援室	福田 祐典 辺見 聡		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	精神保健福祉士の養成の在り方等に関する検討会報告書 等			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 程度以内)	<p>A. 精神障害者の地域生活への移行及び地域生活を支えるための適切な在宅医療の提供を確保を図る。 B. 発達障害に関する専門的知識を有する人材を確保するよう務めるとともに、発達障害に対する理解を深め、及び専門性を高める C. 依存症回復施設等の質を担保し、依存症への対応力を一層強化する。 D. 精神保健福祉士養成担当職員の資質向上を図る。 E. 依存症者を支える家族関係についての理解や依存症に関する正しい知識の習得等を図る</p>						
事業概要 (5行程程度以 内。別添可)	<p>A. 地域での精神科訪問看護等(アウトリーチ)による支援技術に関して、指導的な役割を担うことができる看護職、精神保健福祉士、作業療法士等の人材の養成を目的に研修事業を実施する。 B. 国が指定した施設において、発達障害児(者)への専門的な支援を行う発達障害者センター職員等を対象とした実地研修を実施する。 C. 依存症回復施設職員等に対する研修事業を実施する。 D. 大学等の実習・演習担当教員及び実習施設の実習指導者の資質向上を目的として、講習会及び特別研修事業を実施する。 E. 依存症者を支える家族関係についての理解や依存症に関する正しい知識の習得・理解のための研修事業を実施する。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算		65	61	53	53
		補正予算					
		繰越し等					
		計		65	61	53	53
		執行額		31	40		
	執行率 (%)		47.7%	65.6%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	精神保健福祉分野の職員の質の向上のための経費であり、性質上定量的な成果目標を設定することは困難。 (数値計測困難)	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	①研修の開催回数 訪問看護研修、依存症研修、精神保健福祉研修 ②実施施設数 発達障害者支援者実地研修	活動実績 (当初見込み)	-	-	23	23	-
単位当たり コスト	a. 訪問看護研修 1,166,667 b. 依存症研修 4,000,000 c. 精神保健福祉士研修 1,647,059 (円/研修回数)	算出根拠	a. 訪問看護研修 実績額7百万、研修回数6回 b. 依存症研修 実績額4百万、研修回数1回 c. 精神保健福祉士研修 実績額28百万、研修回数17回				
平成24年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	依存症回復施設職員等研修事業費	7	7				
	精神保健福祉士養成担当職員研修事業費	29	28				
	精神科訪問看護従事者養成研修事業費	7	7				
	発達障害者支援者実地実施研修事業費	11	11				
	計	53	53				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業では、平成23年8月の精神保健福祉法施行規則等の改正において、質の高い精神保健福祉士を養成するため、教員及び実習指導者は講習会を受講を求められているところであり、そのニーズは高く、優先度も高いと考えている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	本事業は、質の高い精神保健福祉士を養成するため、国において画一的かつ適切に実施する必要があると考えている。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	発達障害者支援者実施実地研修事業については、高度かつ専門的な研修を実施できる施設を選定しているため、23年度の執行率は低調となったが、24年度以降は、発達障害施策の底上げが図られていることを勧奨すると執行率も改善される見込みである。
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業は公募及び外部有識者による評価検討会により事業者を選定することで、競争性を確保している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	外部有識者による評価検討会を開催し、事業内容や事業に要する経費の精査を行うことでコストの削減に努めており、水準についても妥当であると考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	本事業に要する経費を明確にするとともに、事業完了後に精算払を行っており、適切であると考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	外部有識者による評価検討会を開催し、事業内容や事業に要する経費の精査を行っている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国において画一的に実施することで、精神保健福祉士の養成に携わる教員等の質が保たれるものとする。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績については見込みとおりであるが、不要が生じている点については、公募により事業者を選定していること、事業内容を精査しているためと考えている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>本事業は、平成23年8月の精神保健福祉法施行規則等の改正に伴う精神保健福祉士の養成を行う担当教員及び実習指導者に対する研修を行うものであり、本事業の実施に当たっては、趣旨を明確にするとともに公募により事業者の選定を行っている。この選定に当たっては、外部有識者で構成する評価検討会の評価結果に基づいて行っている。更に、事業計画段階における事業内容や経費の支出予定等の精査、事業終了後の実績報告による最終確認を行い確定額を精算払いしている。</p> <p>なお、発達障害者支援者実施実地研修事業については、高度かつ専門的な研修を実施できる施設を選定しているため、23年度の執行率は低調となったが、24年度以降は、発達障害施策の底上げが図られていることを勧奨すると執行率が改善される見込みである。</p> <p>本事業については、引き続き予算の執行状況等を踏まえつつ、必要な予算の確保を行っていくこととしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	平成23年度までの実績としては予算の縮減を検討すべきところであるが、発達障害施策という底上げを図るべき分野での研修の担い手不足が執行率の低調の要因であることを踏まえると、執行率改善を図りつつ、引き続き、効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	868

厚生労働省
40百万円

【事業概要】

- A. 地域での精神科訪問看護等(アウトリーチ)による支援技術に関して、指導的な役割を担うことができる看護職、精神保健福祉士、作業療法士等の人材の養成を目的に研修事業を実施する。
- B. 依存症回復施設職員に対する研修事業を実施する。
- C. 大学等の実習・演習担当教員及び実習施設の実習指導者の資質向上を目的として、講習会及び特別研修事業を実施する。
- D. 国が指定した施設において、発達障害児(者)への専門的な支援を行う発達障害者センター職員等を対象とした実地研修を実施する。



(公募・補助)

A.
日本精神科看護
技術協会
6.6百万
研修業務



(公募・補助)

B.
久里浜アルコール
症センター
3.6百万円
研修業務



(公募・補助)

C.
・精神保健福祉士協会
18.8百万円
・精神保健福祉士養成校協
会
7.7百万円
研修業務



(公募・補助)

D.
・横浜やまびこの里
2.7百万
・アスペ・エルデの会
0.6百万
・ノンラベル
0.5百万
研修業務

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

A.日本精神科看護技術協会			D.横浜やまびこの里		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	講師旅費	2.6	報償費	講師謝金等	1.0
報償費	講師謝金等	2.0	その他	賃金、消耗品等	1.7
使用料及び賃借料	会場代	1.1			
その他	賃金、消耗品費等	0.9			
計		6.6	計		2.7
B.久里浜アルコール症センター			D.アスペ・エルデの会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	印刷製本費、賃金等	2.2	報償費	講師謝金等	0.3
旅費	講師旅費	0.6	その他	賃金、消耗品等、印刷製本費	0.3
報償費	講師謝金	0.9	旅費	講師旅費	0.02
計		3.6	計		0.6
C.精神保健福祉士協会			D.ノンラベル		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	発送、入力業務	5.5	その他	賃金、消耗品等、印刷製本費	0.43
資料料及び賃借料	会場代	4.8	報償費	講師謝金等	0.02
その他	印刷製本費、賃金等	3.9	旅費	講師旅費	0.01
旅費	講師旅費	2.3			
報償費	講師謝金	1.4			
役務費	送料	0.9			
計		18.8	計		0.5
C.精神保健福祉士養成校協会			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	講師旅費	2.8			
報償費	講師謝金	2.2			
その他	印刷製本費、賃金等	1.7			
資料料及び賃借料	会場代	0.8			
役務費	送料	0.2			
計		7.7	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本精神科看護技術協会	精神看護従事者向けの研修事業	6.6		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	久里浜アルコール症センター	依存症回復施設職員研修事業	3.6		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	精神保健福祉士養成校協会	精神保健福祉士制度に係る実習指導者研修事業	18.8		
2	精神保健福祉士協会	精神保健福祉士制度に係る教員研修事業	7.7		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	横浜やまびこの里	発達障害者支援者実地研修事業	2.7		
2	アスペ・エルデの会	発達障害者支援者実地研修事業	0.6		
3	ノラベル	発達障害者支援者実地研修事業	0.5		